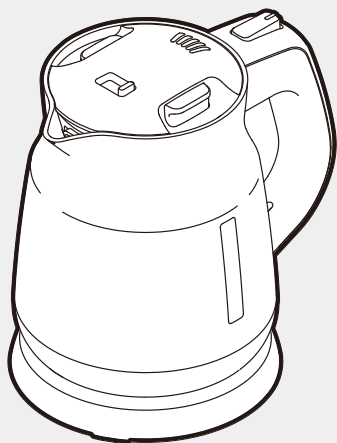


macaful

取扱説明書

このたびは、マカフル電気ケトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



もくじ

ご使用前に / 安全上のご注意	1~4
各部のなまえとはたらき	5~6
正しい使い方	7~9
ご使用後	10
お手入れ方法	11
故障かな?と思ったら	12
保障・サービスについて	13
仕様	14
保証書(持込修理)	15

電気ケトル (家庭用)

MDK-800L

保証書付き

特長

- スピード沸とう
1200Wのハイパワー沸とう
- 転倒湯漏れ防止
倒れてもお湯がこぼれにくい
- 空だき防止
水がない空だき状態を検知したら、ヒーターへの通電が自動的に切れる
- ふた着脱式
ふたがはずせて給水や毎日のお手入れがラク

●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
●本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。①

ご使用の前に / 安全上のご注意

○製品やこの取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意

人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中には具体的な注意内容（上図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

○お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

⚠ 警告



定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火のおそれがあります。



禁止

交流100V以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない。

感電・ショート・発火のおそれがあります。



禁止

本体を傾けたり、抱きかかえたり、ゆすったり、上下に勢よくふったり、衝撃を加えたりしない。

ふたが外れたり、湯が流れ出てやけどの原因になります。



禁止

本体に直接触れない。

使用中や使用後しばらくは熱くなっているため、やけどのおそれがあります。



警告



**お子さまだけで使用させたり、
幼児の手の届くところで使用
したりしないでください。**

やけど・感電・けがを
するおそれがあります。



**蒸気口をふきんなどで
ふさがない。**

湯がふきこぼれてやけどの
おそれがあります。



**満水目盛
以上の水をいれない。**

湯がふきこぼれてやけどの
おそれがあります。



本体を転倒させない。

「ロック」にしているも、
傾けたり倒したりすると
湯が流れ出てやけどの
おそれがあります。



**ふたを「カチッ」と音が
するまで確実に
閉める。**

沸とうがとまらなくなったり、
倒れたときに湯が流れ出て
やけどのおそれがあります。



**ふたを勢よく閉めな
い。沸とう後、しばら
くは開閉しない。**

湯がふきこぼれてやけどの
おそれがあります。



**氷を入れて保冷用に
使わない。**

結露が生じ、感電・
ショート・発火の
原因になります。



**本体接続部や電源プレート
接続部にピン・針金など
金属物(異物)を入れない。
また、ごみを付着させない。**

感電・ショート・発火の原因になります。



**改造はしない。また修理技術者
以外の人は、分解した
り修理をしない。**

火災・感電・けがの原因と
なります。修理はお買い上げ
の販売店にご相談ください。



**蒸気口や注ぎ口に触っ
たり、顔を近づけない。**

接触禁止

やけどをすることがあります。
特に乳幼児には触らせない
ようご注意ください。



**使用中、電源プラグ・電源コードが
異常に熱くなるときは、
直ちに使用を中止する。**

ショートや発火の原因になります。



**直火(ガス台など)や電気ヒーター、
電磁調理プレートなどの上
にのせない。**

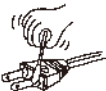
禁止

火災・変形・故障の原因になります。



**電源プラグの刃(先端)および
刃の取付面にほごりが付着して
いる場合は、よくふく。**

火災の原因になります。



**電源プレート接続部を
なめさせない。**

禁止

乳幼児が誤ってなめないように注意してください。
感電やけがの原因になります。

ご使用前に / 安全上のご注意

警告



禁止

水以外のもの(氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など)は入れない。

ティーバックやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。また、注ぎ口が詰まったり底プレートの焦げつきや腐食の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をせたり、はさみ込んだり、加工したりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

注意



禁止

不安定な場所、熱に弱いテーブル敷物の上、カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。

火災ややけど、またテーブル・敷物の変色・変形の原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使わない。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。キッチン用収納棚などで使用するときは、中に蒸気がこもらないように注意してください。



禁止

湯がかし中は、湯を注いだりふたを開けたりしない。

湯が飛び散ったり、蒸気でやけどの原因になります。



禁止

湯を注いでいるときにふたを開けたりしない。

湯が飛び散ったり、蒸気でやけどの原因になります。



接触禁止

ふたを開けるとときに、出る蒸気や本体に触れない。

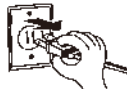
やけどの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、電源プレート接続部や本体底などの高温部に触れない。

やけどの原因になります。沸とう直後は、本体が熱くなるので注意してください。



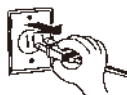
お手入れは冷えてから行う。

高温部に触れ、やけどのおそれがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグ部を持って引き抜く。

感電やショートで発火することがあります。



禁止

この製品専用の電源プレート以外は使わない。電源プレートを他の機器に転用しない。

故障、発火のおそれがあります。



注意



本体を逆さにして置かない。

故障の原因になります。

禁止



湯わかし中や沸とう直後の蒸気が出ているときは持ちはこばない。

やけどの原因になります。

禁止



本体を持ちほぶときは、ふた開閉つまみに触れない。

ふたが開いてけがややけどをすることがあります。

禁止



丸洗いしない。

ショート・感電・故障の原因になります。

禁止



湯わかし完了後、電源スイッチを押し続けて、沸とうを無理に継続させない。

蒸気が漏れて、故障の原因ややけどのおそれがあります。

禁止



続けて使用するときには、ふたや本体が冷めてから湯わかしを行う。

やけどのおそれがあります。

禁止



ハンドル排水口には触れない。

湯わかしを行うと、ハンドル排水口から蒸気や熱い水滴が出ることがあり、やけどのおそれがあります。

禁止



蛇口から直接給水したり、流し台に置いて底面をぬらさない。

感電・ショート・発火のおそれがあります。

禁止



電源コードが破損した場合には、危険が生じることをないようにするために、製造者もしくはその代理店にコード交換を行ってもらうこと。

お願い

● **水を入れずに通電しない。**

底プレートが変色したり故障の原因になります。

● **熱源のそばでは使用しない。**

火災・変形・故障の原因になります。

● **浄水用などの炭を入れて使わない。**

故障の原因になります。

● **残り湯は捨ててください。**

腐食や変色の原因になります。また、凍結の恐れがある場所では、凍結による故障の原因となります。

● **他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない。**

蒸気により、電気機器の火災や変形・変色・故障の原因になります。

● **落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない。**

故障・破損の原因になります。

● **直射日光が長時間当たる場所で使わない。**

本体が変色したり熱くなるなど、故障の原因になります。

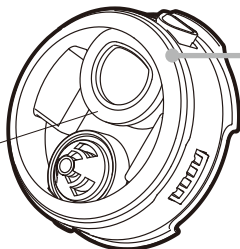
● **本体や電源プレートを引きずって移動しない。**

テーブルなどに傷が付く恐れがあります。

各部のなまえとはたらき

●本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。

ふた

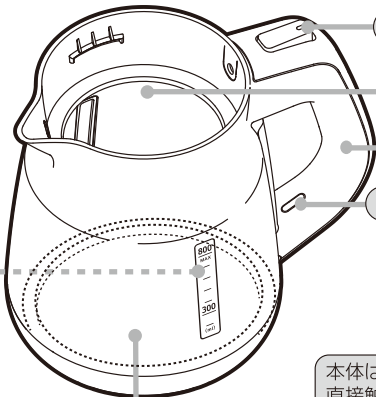


ふたパッキン

このパッキンははずさないでください。
(万一はずれた場合はお買い上げの販売店又は当社サービスセンターにご相談ください。)

ふたをふったりすると、カタカタと音がします。これは万一転倒したときの湯漏れを最小限にする弁の音で異常ではありません。

本体



電源スイッチ

本体内側

ハンドル

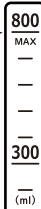
湯わかしランプ

湯わかし中はランプが点灯します。

満水目盛

満水目盛(800ml)以上に水を入れないでください。

満水



底プレート

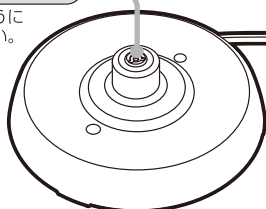
本体は熱くなります。直接触れないでください。湯を注ぐときや持ち運びはハンドルを持って操作してください。

電源プレート

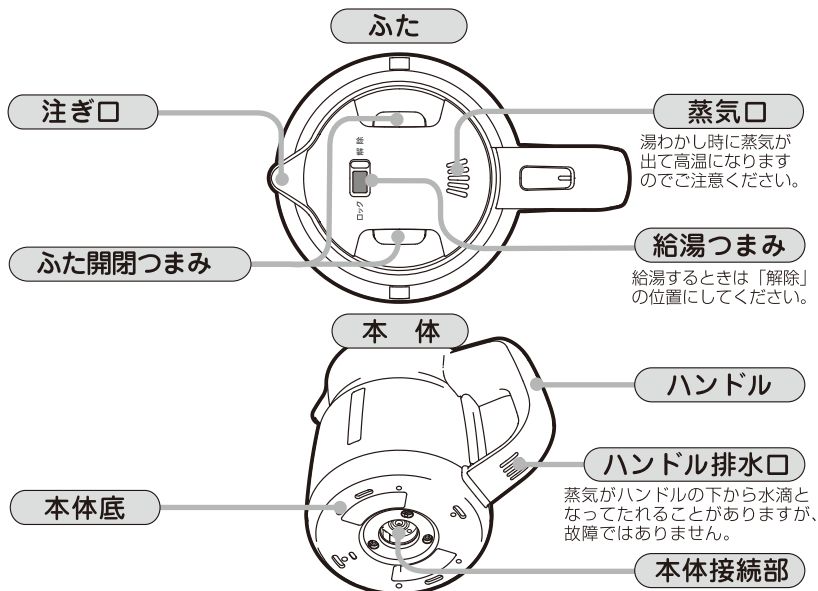
電源プレート接続部

本体接続部に合うように本体をのせてください。

電源プラグ



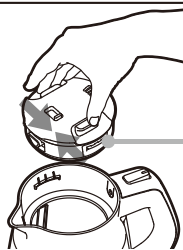
電源コード



ふたの開け方・閉め方

開け方

- ①「ふた開閉つまみ」を指ではさみながら、中央方向へ押す。
- ②そのまま真上に引き上げ、ふたを開ける。



閉め方

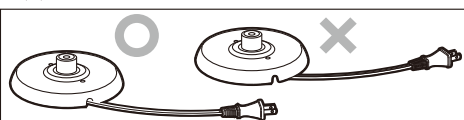
ふたを「カチッ」と音がするまで、左右の爪部分を確実に押し込む。

爪

本体が倒れないように注意してください。

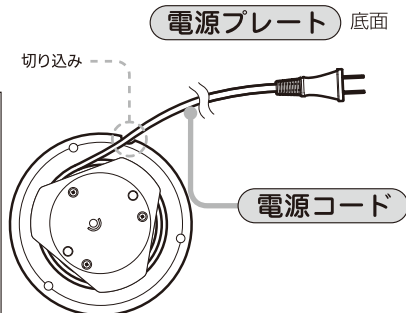
電源コードの長さ調節方法

電源コードを電源プレート底部に巻きつけて長さを調節し、電源プレートの切り込みに合わせて電源コードを外に出してください。



- 電源コードの上に電源プレートをのせないでください。

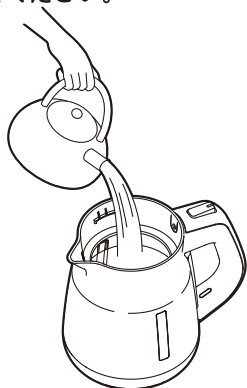
傾いて転倒の原因になります。重いものをのせたり、はさみ込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



正しい使い方

① 水を入れる

- ふた開閉つまみを押してふたを開けてください。
- やかんや水差しなど別の容器で水を入れてください。



⚠ 警告

- 満水目盛以上の水を入れしないでください。

湯が蒸気口、及び、ハンドル排水口よりあふれ出てやけどのおそれがあります。

⚠ 注意

- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。

火災ややけど、敷物の変色・変形の原因となります。

- 水を入れなくて、通電しないでください。空だきすると底プレートが熱変色したり、故障の原因となります。
- 電源プレートに本体をのせたまま水を入れしないでください。電源プレートに水がかけられ故障の原因となります。

② ふたを閉め電源プレートにのせる

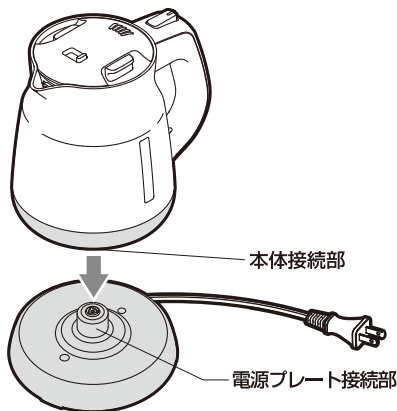
- ふたを「カチッ」と音がするまで、左右の爪部分を確実に押し込んでください。



※わかつ前に給湯つまみがロックの位置（閉じている）が、確認してください。ふたが確実に閉まっていなかったり、給湯つまみがロックの位置になっていないと、電源が切れなかったり、注ぎ口やふたと本体の隙間から蒸気が出たり、万一倒れたときに熱湯が出てやけどの原因になります。

- 本体接続部と電源プレート接続部が合うように正しくのせてください。

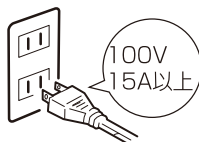
※電源プレートは平らなところに置いてください。



○初めてご使用になるときや、しばらく保管されていたときは、一度湯をわかし、湯を捨ててから使用ください。

③電源スイッチを入れ、湯をわかす

- 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

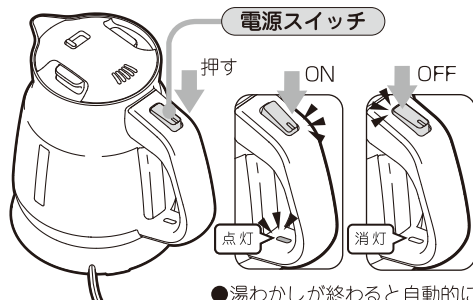


電源プラグ

⚠ 警告

- 電源コードや電源プレート接続部が傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プレートや本体接続部にピンやゴミを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

- 電源スイッチを入れて湯わかしを開始します。



⚠ 警告

- 蒸気口にふきん等をかけない。
- 蒸気口から出る蒸気に注意する。
- ランプ点灯中はふたを開けない。
- 湯わかし中は湯を注がない。
- 湯わかし中は移動させない。

湯わかし時間

約4分30秒

(室温23℃、水温23℃、満水)

- 湯わかしが終わると自動的に電源スイッチがOFFになります。
- 湯わかしが終わるまでに電源を切る場合は、電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 保温機能はありません。

⚠ 注意

- 湯わかし完了後、電源スイッチを押し続けて、沸とうを無理に継続させないでください。蒸気が漏れて、故障の原因や、やけどの恐れがあります。
- 使用中は本体が熱くなりますので注意してください。蒸気口や本体接続部・電源プレート接続部なども熱くなります。
- ハンドル排水口には触れないでください。湯わかしを行うと、ハンドル排水口から蒸気や水滴が出ることがあり、やけどのおそれがあります。

- 空だき防止

水が入っていない空だき状態を検知したら自動的に電源スイッチがOFFになります。

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になると、カルシウム分が付着しやすく変色や湯の出が悪くなる原因になります。(P 11参照)

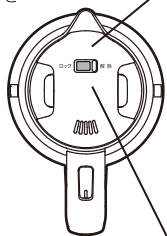
④湯を注ぐ

電源スイッチがOFFになり、ランプが消灯していることを確認してください。

沸とう状態がおさまってから電源プレートから本体をはずしてください。

●給湯つまみを解除の位置にする。

- 蒸気が出なくなったことを確認してから、給湯つまみを操作してください。
(やけどの原因)
- 湯わかし直後にふたを開けないでください。
(やけどの原因)



給湯つまみの操作方法

解除

ロック

解除

赤色の目印

ロック

ロック

解除

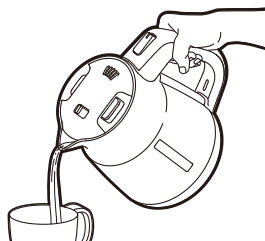
⚠ 注意

- 使用中は本体や電源プレート接続部、本体底が熱くなるので触れないように注意してください。

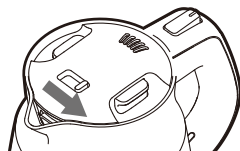
やけどの原因になります。

●ハンドルを持ち本体を傾けて湯を注ぐ。

- 注ぐ時は本体や本体底に手を触れないでください。
(熱くなっており、やけどの原因)
- 一気に深く傾けて注がないでください。
(急に湯が出てやけどの原因)
- 注ぎ口から湯が出ているときに給湯つまみを操作すると、湯が飛び散り危険です。



- 注ぎ終わったら本体を水平に戻し、安全のため給湯つまみをロックの位置へ戻してください。



●ふたをはずし、残り湯を捨てる。

- 本体が十分に冷めていることを確認してから行ってください。
- 注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意してください。
(やけどの原因)
- 電源スイッチ・本体・本体底に湯がかからないよう注意してください。
(やけどや故障の原因)
- 清潔さを保つために1日1回は残り湯を捨ててください。

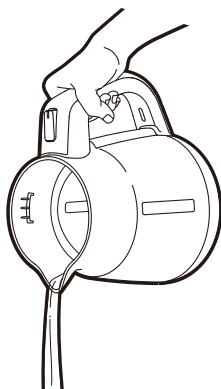
①電源プレートから本体をはずし、ふたをはずす。

- ふた開閉つまみをつまみ、真上に持ち上げてください。
(P 6 ふたの開け方・閉め方参照)

②ハンドルを持ち本体を傾けて残り湯を捨ててください。

- 残り湯は必ず下図のように捨ててください。
本体は熱くなっています。直接手を触れないでください。

残り湯の捨て方



③よく絞ったふきんなどで汚れをふき取ってください。

④ふたを取付ける。

お手入れ方法

- ◎お手入れ前に、必ず電源プラグを抜き、本体が冷えてから、残り湯を捨て、スポンジたわし・やわらかい布を使いお手入れを行ってください。
- ◎ご使用いただくうちに本体や底プレートの変色(もらいサビ・乳白色・黒色など)や湯の中に白い浮遊物が混じる場合があります。これは水質により生じる水アカです。本体や底プレートの変色や腐食ではなく、また、衛生上問題ありませんが、湯の出が悪くなったりしますので、こまめにお手入れをしてください。

本体内側のお手入れ

- ぬるま湯か水を少量入れ、スポンジで洗った後、よくすすいでください。
- 変色などが取れにくい場合は次の方法でお手入れをしてください。
 - ①市販の洗浄用クエン酸(約30g: 大さじ2~3杯)を本体内側に入れる。
 - ②満水目盛まで水を入れ、湯をわかして2~3時間そのまま放置する。
 - ③湯を捨て、スポンジでこすり落とす。
 - ④水で十分すすいだ後、においを取るため再び満水で湯をわかし、その湯を捨てる。※なお、空だきによる熱変色はとれません。

- 赤サビ状のものは水に含まれる鉄分などが酸化し付着したもらいサビです。こまめにお手入れしてください。

本体接続部・電源コード・電源接続部のお手入れ

- 乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
- 水につけたり、水をかけないでください。ショート・感電のおそれがあります。

ふた・本体外側のお手入れ

- やわらかい布を水につけ、固く絞ってからふいてください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を薄めた湯をやわらかい布に含ませ、固く絞ってからふいてください。
- ※洗剤を使用した場合、水だけで固く絞ったやわらかい布で十分ふきとってください。

- 食器洗浄乾燥機を使用しないでください。
(樹脂の変形の原因)
- 本体底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。
(内部に水が入り、故障・サビの原因)
- シンナー類・みがき粉・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わないでください。
(本体・底プレートに傷が付く原因)

長期間ご使用にならないときは

- ふた、本体、底プレートなどの汚れを落としたのち、乾いた布でふき十分乾燥させてください。特に本体内側は十分に乾燥させてください。
※食器乾燥機で乾燥させないでください。
- ポリ袋をかぶせ、箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

○次の項目について点検を行ってください。いずれの場合にも当てはまらない場合は、お買い上げの販売店又は、当社サービスセンターへご相談ください。

症状	原因	処置
湯がわかない (ランプがつかない)	電源プラグがはずれていませんか。	電源プラグを差し込んでください。
	本体が電源プレートに正しくのっていますか。	正しくのせてください。
	電源スイッチが「OFF」になっていませんか。	電源スイッチを「ON」にしてください。
	電源プレートの上面や接続部に、金属片やごみが付着していませんか。	電源プラグを抜いてから、金属片やごみを取り除いてください。
	水が入っていない状態で電源スイッチを「ON」にしていますか。空だき防止機能が働くと電源が「OFF」になります。	いったん本体を電源プレートからはずし、十分に冷めてから水を入れて、ふたを閉め、湯をわかしてください。
注ぎ口や蒸気口から湯が勝手に出る	満水目盛以上の水を入れていませんか。	「満水目盛(800MAX)」以下にする。
	給湯つまみが解除(赤色の目印)のままになっていませんか。	給湯つまみを「ロック」の位置にする。
「ゴー」という音がする	「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。	
「ゴー」という音がいつもより大きい	底プレートが汚れていると、特に音が大きくなります。	お手入れの方法に従ってください。(P11参照)
湯わかしがとまらない (スイッチが「OFF」にならない)	給湯つまみが解除(赤色の目印)のままになっていませんか。	給湯つまみを「ロック」の位置にする。
湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	使い始めは樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
本体内側や底プレートが汚れている (湯に白い浮遊物が浮く)	水質によるもので、本体内側の変色や腐食ではありません。	本体内側のお手入れ方法に従ってください。(P11参照)
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある	樹脂成形時に発生する跡で、使用上支障はありません。	
使用後しばらくすると音がすることがある	熱せられた部品が冷めるときに発生する音です。使用上支障はありません。	
ハンドル排水口から水滴がたれる	ハンドル排水口から水滴がたれることがありますが、故障ではありません。	

ふたパッキンは消耗品です

- ゴムが劣化し変形や破損がある場合は、新しいふたパッキンと交換(有料)してください。
- 交換の際は、製品の品番をお確かめのうえ、お買い上げの店にご相談ください。

保証・サービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い。
必ず「販売店及びお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です
3. 修理を依頼されるとき
[保証期間中]
製品に保証書を添えて、お買い上げの店へご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。
[保証期間を経過しているとき]
お買い上げの店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
4. 電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。
●この期間は経済産業省の指導によるものです。
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 上記内容についての詳細、ご贈答品・ご転居の場合など、その他製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、この保証書に記入してある当社サービスセンターへご相談ください。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

警告

- 改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。
火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの店にご相談ください。

仕様

型番	MDK-800L
容量	800ml
定格	交流100V(50/60Hz) 1200W
外形寸法(プレート含)(約)	幅 150mm×奥行 214mm×高さ 207mm
質量 (コード含)(約)	1.02kg
温度ヒューズ	176℃
コードの長さ(約)	1.2m

Denkyoshin 株式会社 電響社

サービスセンター（製品の使い方や修理などに関するお問合せ）

☎:0120-070-440 [受付時間] 10:00~12:00・13:00~17:00（土曜、日曜、祝日、当社休業日を除く）

住所：〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号（電響社サービスセンター）FAX:075-681-0886



愛情点検

長年ご使用の
電気ケトルの
点検を！

こんな症状ありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱い。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- 湯わかしランプが点灯・消灯しない。
- 電源スイッチが上がる、又は下げることができない。
- その他の異常・故障がある。

▶
ご使用
中止

電源プラグを抜き、
故障や事故の防止の
ため、必ず販売店に
点検(有料)をご相談
ください。